



あなたがつくる 「箕面のあした」



次期箕面市総合計画策定に
向けた市民と市民会議との
意見交流会



次期総合計画

箕面市では、
平成23年度から始まる
新しい総合計画を
策定します。

総合計画って何？！

- ◆ 長期的なまちづくりの方向性を示す最も基本となるもの
- ◆ めざすべき将来像、基本目標を設定し、その実現に向けての基本的な取り組みを示しているもの

↓ そんな総合計画を

行政だけで考えていいの？！

まちづくりの主人公は市民じゃないの？！

そこで、平成19年6月 箕面市民会議が発足

でもでも

？

箕面市民会議って何？！

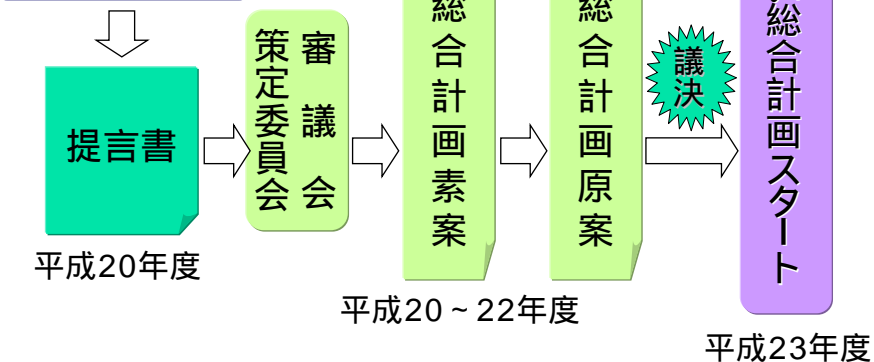
？

↓ それは

- ◆ 次期市総合計画が市民の想いで満たされた「箕面のあした」づくりになるよう、さまざまな分野について議論・研究し、市に提言することを目的に自主的な活動を行うグループ

市民会議からの提言はどうなるの?!

箕面市民会議



身近な問題を考えよう

- **人と人の関わりの問題**
 - いじめ、近所づきあい、差別、格差、少子高齢化、介護、医療、子育て、交通、暮らし…
- **人と自然の関わりの問題**
 - 子どもの自然体験がない、「モッタイナイ」の喪失、里山の荒廃、温暖化、食糧危機…
- **自然環境の問題**
 - 生物多様性の減少、地球環境の悪化…



時代の変化

- 地方分権が進み、国からの支援が少なくなった。
- 財政危機をどうするのか？
施策をどうするのか？
市民も考えなくてはならなくなった。



元気な箕面を未来の世代へ つなげる計画

- 私たちだけの世代の問題ではない。
- 次の世代に残し伝えていけるすばらしい箕面にしていきたい。
- 持続可能な次期総合計画を提言したい。

どのような考え方で 提言するのか

- 少子・高齢化や価値観の多様化が進む中で、さまざまな分野で多くの問題が生じています
- 財政危機の中で「公共(行政)」に任せていたら大丈夫という時代でもありません
- 本来、地域や家庭が持っていた共助の機能が低下してきていますが、もう一度「共助」の考え方を見直し、あたらしい取り組みが求められます

自助・共助・公助の視点

- 「自助」とは、自らの暮らしは自らで良くしようという考え方
- 「公助」とは、行政が市民の暮らしを良くしてくれるという考え方
- 「共助」とは、市民・事業者・行政の協働により地域社会全体で地域の方々の暮らしを良くしようという考え方



これからは

- だれもがまちの主人公であり、自分でできることは自分で、一人でできないことは地域や仲間、そしてみんなで進めること。
- **これからの方向・それは・・・**



市民・NPO・市民団体と事業者、行政の参画と協働がさらに重要となる

- 心豊かにすごせる社会の実現をめざしていくために、市民の誰もが地域社会の担い手として、ボランティア・NPOや地域コミュニティ、事業者、行政などと互いに助け合う、「共助」の理念を総合計画に盛り込む必要があると考えます
- その方向を行政に提言したいと思います



自助・共助・公助、 おのおのが重要

- だからと言って共助だけが大切な
のではない
- 自助・共助・公助、おのおのが重要
- これからは、そのすみわけ時代。
- 決して対立概念ではありません。



これからの総合計画

- **持続可能な計画**
これらは自然・社会環境の改善・問題解決が大切
- **参画による協働**
住民・市民団体・事業所・行政の主体者すべてが「自助・共助・公助」の考え方を共有化し、参画と協働で進化した箕面を創りあげる。



本日、意見交流会を持った訳は、 説得力のある提言にするために

- ◆ 実現可能性の高いものであること
- ◆ 内容的に整合性がとれていること
- ◆ 多くの市民の賛同が得られること が重要



というわけで

- ◆ 本日の意見交流会が「箕面のあした」
づくりになるように
- ◆ 皆さんと一緒に考え
- ◆ そして、より多くの意見をお聞かせいただけたら
と、考えています。



あしたの箕面をつくるのは

- あなたの出番です。
- 市民会議ではあなたのご意見・提案・要望などをお待ちしています。
- 市民会議にも是非入ってください。
よろしくお願いします